

企業・NPO・大学パートナーシップ支援事業「スタディツアー」実施結果

【日時】

実施日 令和4年2月3日（木） 10:00～16:00

【参加者】

28名（NPO等市民活動団体15名、企業7名、大学生・大学職員3名、個人2名、行政1名）

【テーマ】

先の読めない時代とともにソーシャルイノベーションを起こすために
～協働から得られる気づきとは？～

【プログラム／訪問場所・団体】

5つの企業および非営利団体をオンラインで訪問し、先進的な協働の事例とその中で得られた気づきを聞くことで、最終的に参加者が社会の変化を自分事として捉え、課題の解決のために自分／自組織がどのように考え行動すべきかイメージできていることを目標に実施しました。

訪問先を選んだ上での詳細なヒアリング、意見交換を通じて、各々の理解を深め、ワークシートを用いた個人ワークの時間を通して自らの考えを整理することを目指しました。

（配信会場：市民セクターよこはま事務所（ICHIMATSU スクエア））

< オンライン訪問先（2企業、3非営利団体） >

企業の事例：非営利団体との協働から得られた気づきとは？

- （1）富士通 Japan 株式会社 神奈川支社 第四ビジネス部
フードバンクマッチングシステム構築における NPO との協働の事例とそこから得られた気づき
- （2）株式会社横浜セイビ
ウェルカムベビープロジェクト、とつかりビングラボなどまちづくりにおける協働の事例とそこから得られた気づき

非営利団体の事例：社会課題解決の現場とそこにあるニーズとは？

(1) NPO 法人森ノオト

暮らしの中の環境・エコに関する課題と協働から得られた気づき

(2) 一般社団法人ラシク 045

子育て期の暮らしのニーズと協働から得られた気づき

(3) NPO 法人アスリード

10代の若者たちの職業選択に関する社会や地域の課題と協働から得られた気づき

【参加者アンケートより（抜すい）】

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 昨年に引き続きの参加でしたが、今回は他団体さんの発表も聞いたのでとても漏れなく聞いて良かったです！ |
| <ul style="list-style-type: none">・ リスト、資料などの事前配布、ブレイクアウトセッションでの質問、個人検討時間と発表の設定など過去からの経験に基づき適切なプロセスを創りあげられたと感じています。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ オンラインなので、参加しやすいですね。事前に連絡先もいただけるので、後々繋がりやすいです。ありがとうございます。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ オンラインですと、仕事との時間的な両立が可能で良かったです。オンラインですと、疑問点などをその場でネット検索で解決できる点も良かったです。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ ブレイクアウトセッションで全ての部屋を回ることができて質問できてよかったです。これだけ問題意識を持った方が参加されるのであれば、zoomでの開催でも十分にリアルと同等の効果があるのではと感じました。 |
| <ul style="list-style-type: none">・ 画面に集中するのでどうしても疲れます。適宜休憩をとってくださったのがよかったです。 |

(「満足」 + 「やや満足」 93%)

【プログラム】

オリエンテーション

プログラムの概要の説明を行った後、参加者全体で自己紹介を行いました。

企業・団体訪問（オンライン訪問）・深堀りヒアリング

午前中は2つの企業、午後は3つの非営利団体に全員でオンライン上での訪問を行いま

した。訪問後、チームに分かれてより関心のある企業・団体へ「深掘りヒアリング」と称して詳細な質問や意見交換を行う時間を設けました。

個人ワーク

オンラインでの訪問を終えたあと、事前に配布していたワークシートに沿って個人ワークを行いました。

個人ワークのご説明

p1 「解決したい、なんとかしたい」と思う地域や社会の課題を書いてください。(小さいものでもOK)

p2 事例発表を聞きながら、ご自由にメモとしてご活用ください。

p3 個人ワークの時間にご記入ください(30分)。このシートの内容を最後に画面共有しながら発表していただきます(2分)。

▲個人ワークシートとその説明

～個人ワークでは、次のお題について考え、発表し合いました～

- ・最初に設定した課題（解決したい、なんとかしたいと思う地域や社会の課題）に関連してツアーをとおして考えたこと
- ・所属する組織に持ち帰って共有したいこと
- ・自分の個人としての変化



発表タイム

参加者および各訪問先の発表者全員が集まり、参加者一人ずつ、訪問や対話を通じて考えたことを、全体でシェアしました。



企業・NPO・教育・行政関係者向けスタディツアー

Study Tour

先の読めない時代に
ともにソーシャルイノベーションを
起こすために
協働から得られる気づきとは？

2022.2
10:00-16:00

主催： 鎌倉山県 超党派NPO法人市民共創会 協力： 森ノオ株式会社 後援： 横浜市市民協



登壇者

(※遠隔・録音あり)




富士通Japan株式会社 神奈川支社第4ビジネス部 代表取締役社長 萩原 潤一
株式会社横浜セイビ 代表取締役社長 川口 大治
NPO法人森ノオ 理事長 北原 まどか
一般社団法人ランク045 代表理事 原 美紀
NPO法人アスリード 共同代表理事 杉野 瞳

ヒアリングタイム

お申込時にお聞きした関心のあるテーマのお部屋に
いったん自動的にお送りします。

発表を聞いてみて、「やっぱりこっちのお話を聞きたい」と思われた場合は、ご自身で移動してください。

25分間



- 暮らしの中の環境・エコに関する課題 (NPO法人森ノオ)
- 子育て期の暮らしのニーズ (一般社団法人ランク045)
- 10代の若者たちの関する社会や地 (NPO法人アスリード)

発表タイム

50分間 1人2分

シート3枚目を画面共有しながら発表していただきます(2分ずつ)。15秒前に音でお知らせします。

p3

ランダムにコメントをお願いすることがあります！

【発表にご記入ください】 発表内容として掲載させていただきます。

(1) 最初に指定した課題に関連してツアーをとおして考えたこと
ここをクリックまたはタップしてテキストを入力してください。

(2) 所属する組織に持ち帰って共有したいこと
ここをクリックまたはタップしてテキストを入力してください。

(3) 自分の個人としての変化
ここをクリックまたはタップしてテキストを入力してください。